令和４年度 相模向陽館高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○　課題・目標別実施結果

課　　題	目　　標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上	※公務員としての自覚を持った行動の徹底	・教育委員会からの通知や啓発･点検資料等、さらに『神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針』を全職員で活用し、意識啓発と事故の未然防止に努め、意識が向上した。
②職場のハラスメントの防止	※職場におけるパワハラ、セクハラ、マタハラ等の防止	・教育委員会からの通知や啓発･点検資料等を全職員で活用し、繰り返すことで職員の意識啓発と事故の未然防止に努め、意識が向上した。また、職場研修を行い、人権意識が向上した。
③児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	※わいせつ・セクハラ行為の未然防止	・本校の教職員のミッションの遂行を職員で徹底するとともに、不祥事防止会議を活用し、授業や面談での生徒への発言について注意喚起し、意識啓発に取組んだ結果、意識も向上した。
④体罰、不適切な指導の防止	※体罰、不適切な指導の未然防止	・生徒への対応について、常に生徒との距離を保つことやことば遣いを意識するよう繰り返し伝え、職員の意識も向上した。 ・人権意識のもと、複数かつ組織的な対応を徹底した。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類及び取扱いに係る事故防止	※入学者選抜、成績処理及び進路関係書類及び取扱いの適切な対応 ※情報管理の徹底	・入学者選抜業務において、業務ごとに複数回、複数人でのチェックの重要性を共有し、事故防止に繋げた。 ・卒業年次、キャリア支援グループ及び学事グループの職員を中心に点検やマニュアルの確認を行い、事故防止を徹底した。
⑥個人情報等管理、情報セキュリティー対策	※個人情報流出の未然防止 ※個人情報の適正使用	・個人情報の管理について日常的に声を掛け合い、複数の目による点検や確認をこまめに行い、事故の未然防止に努めた。また、日々刷新されるICT機器やツールに関する情報を共有し、こまめな注意喚起を行った。
⑦財務事務等の適正執行	※公費・私費会計の不適切な取扱いの防止 ※適切な現金処理	・財務規則と私費会計基準に沿った会計処理及び管理職による帳票類チェックを徹底し、適切な会計処理を目指すよう意識向上を図った。財務事務調査の指摘事項についても職員会議で周知し、適正な会計執行に当たった。

○　令和４年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和５年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

本校では、事故・不祥事の防止を目指し、県教育委員会、行政課等の通知の周知徹底と資料等を活用した意識啓発、また総括教諭等による日常的な業務の進行管理などをとおして、不祥事のない職場体制づくりの推進と職員一人ひとりの意識の高揚に取り組んできた。このような取組みの結果、不祥事のない職場づくりが概ね達成できたと考えている。

加えて、本校は教職員のミッションを

〇生徒を信頼する
〇生徒を受容する
〇生徒を励ます
〇生徒を支援する
〇生徒を尊敬する
〇生徒の言葉を傾聴する
〇生徒との意見の違いについて話し合う

と定め、全職員で意識的に生徒と接している。生徒一人ひとりを全職員で支援する体制を構築しており、それが不祥事のない環境に繋がっている。今後もすべての職員が当事者意識を持ち、共有・協働の姿勢を持ち続けていく。令和５年度も不祥事防止会議や職場研修の充実や工夫を図りながら「不祥事ゼロ」の職場を目指していきたいと考えている。